

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	高齢者の健康づくり					所管	福祉部 介護予防・地域支援課			
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)		事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標]						[事業開始] 平成13年度			
		[小 柱]						[終了予定] - 年度			
		[施 策]									
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	介護保険法						
	事業対象	概ね65歳以上の高齢者及び介護予防に興味関心のある区民									
	事業目的	高齢者自身が介護予防に必要な知識を習得し、自ら実施できるように知識の普及および支援を行い、介護予防に取り組むことで、生活の質の向上を図る。									
	事業内容	(1) 高齢者の健康づくり教室: 介護予防に必要な知識を普及するための教室等を実施(知識編・運動編・尿失禁予防・栄養改善・口腔機能向上) (2) ふれあい介護予防教室: 高齢者の身近な場所で、介護予防のための体操の実施や閉じこもり予防を目的とした教室を実施 (3) 地域の依頼による高齢者健康教室: 地域からの依頼により、介護予防に必要な知識を普及する教室を実施									
	委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	国・都										
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度			
	活動指標	実施回数		回	110	106	118	108			
		意識が向上した高齢者の割合 (高齢者の健康づくり教室)		%	90.0	89.0	94.9	92.8			
	成果指標	延参加人数		人	1,400	1,551	1,935	1,859			
		決算額 (単位: 千円)					552	507	460		
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト(人件費など)					11,504	11,817	13,794		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)					288	229	221		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)					265	278	239		
		総経費					12,057	12,324	14,254		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)					5	5	6		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)					479	502	397				
一般財源(区負担額)					11,573	11,817	13,851				
前回評価から改善した事項	ふれあい介護予防教室は、知識啓発以外にも参加者が楽しんで参加できるような内容を盛り込み、また、区民ボランティア(ころばぬ先の健康体操サポーター)の協力による周知を強化した結果、参加者数が増加した。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	4	今後、区の高齢者人口は増加することが予想され、より一層、高齢者自身が自主的に介護予防の取組をできるよう、働きかけが重要である。								
	効率性	3	既存のふれあい介護予防教室に出向く形で健康学習を実施し、また、事業運営にあたり区民ボランティア(ころばぬ先の健康体操サポーター)の協力を得ることで、人的資源の効率化を図ることができている。								
	手段の適切性	3	特にふれあい介護予防教室については、介護予防の知識啓発だけでなく、参加者が近所や友達を誘って参加したり、地域包括支援センターが虚弱傾向にある高齢者を連れてくることもあり、引きこもりがちな高齢者の誘い出しや見守りの場としても活用されている。								
	目的達成度	4	高齢者の健康づくり教室の参加者について、健康づくりへの意識が向上したとする高齢者の割合は9割を超えており、知識の普及に効果があった。								
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
高齢者の健康づくり教室の参加者数や満足度は高く、高齢者自身の介護予防の機会となっている。今後も、高齢者人口の増加が予想される中、区民がいつまでも自分らしく元気に生活するには、多くの高齢者が自主的に介護予防に取り組む必要があるため、本事業を実施継続していく。							維持				